

中川根ふる里通信

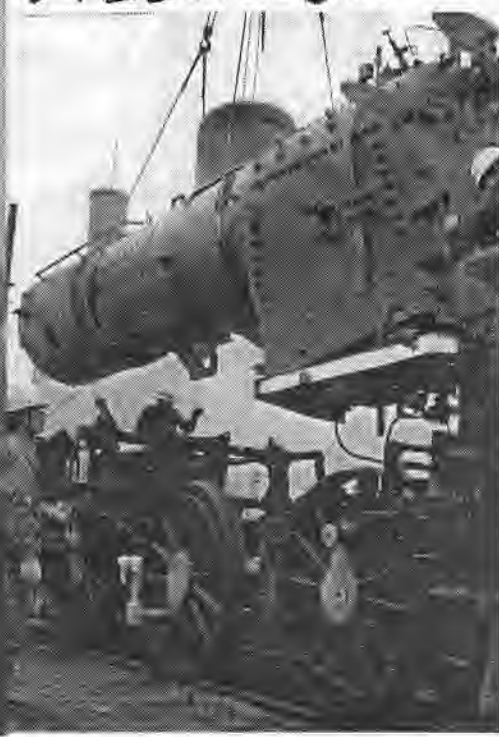
= 第85号 =

中川根ふる里通信
 昭和61年4月20日創刊
 編集・発行・連絡先
 静岡県榛原郡川根本町
 〒428-0813 上五尾89-6
 TEL 0547-848347 FAX 0547-848347
 (36-0015) (36)-0020

平成十九年度、静岡県都市景観賞にて
 最優秀の知事賞に
 大井川鉄道田野口駅が選ばれた



緑色の蒸気機関車-C56 44-
 タイ国鉄735号機



大井川鉄道のSL再生の特技で
 みごと復活、写真家・金盛正樹氏より

第62回 全国茶品評会 普通煎茶の部

日本一の川根本町とお茶事の人々

おめでとろう上位独占と産地賞

今夏八月二十六、二十九日に熊本県で開催された「第62回 全国茶品評会審査会」において、「普通煎茶10kgの部」で二位の独占をはじめ九点が入賞を果たす好成績を収めました。また入賞茶の得点により決定する産地賞(団体)も「普通煎茶10kgの部」において、優勝の栄冠に輝きました。個人の一部と併せてのダブル日本一受賞は、昨年の第60回に続き通算七回目となり、茶産地川根の名を全国に発信できました。嬉しいお知らせをお届けします。

第62回 全国茶品評会 審査結果

(川根本町関係入賞分)

★普通煎茶10kgの部

- ★一等一席(二位)つちや農園 土屋鉄郎(尾呂久保)
- ★一等二席(二位)備川根香味園 代表 大村雄一郎(沢間)
- ★一等四席(四位)丹野園 丹野浩之(水川)
- ★一等五席(五位)農事組合法人わらやま 代表 小坂博志(久保尾)
- ★二等五席(十二位)高田農園 高田智祥(元藤川)
- ★二等六席(十三位)因野口第一製茶組合 代表 和田安文(田野口)
- ★二等十席(十七位)相藤園 相藤令治(元藤川)
- ★二等十二席(十八位)農事組合法人中川根はちのけ園

代表 中村宗夫(八中)

★二等十二席(十九位)相藤農園 相藤直紀(元藤川)

敬称略します

★産地賞 受賞結果 (普通煎茶10kgの部)

- ★優勝 川根本町 五九七点
- ★二位 八女市 五八五点
- ★三位 静岡市 五五三点

表彰式は十月四日、第62回全国お茶まつり熊本大会にて挙行されます。晴れの受賞者の皆さん、川根本町、胸をはってほえる表彰をお受け下さい。本当におめでとろうございました。

★全国茶品評会 農林水産大臣賞 受賞 土屋鉄郎さんご紹介

水川字尾呂久保のつちや農園の土屋鉄郎さん(69)は、標高六〇〇mの茶園で栽培に励んでいます。(写真は、入賞茶園にて土屋さんと奥さんの清子さん)

「川根の自然を生かしたこだわりのお茶・香りの良さはどこにも負けない」と言われます。

当時尾呂久保地区は、上長尾から道程で6km、標高差は400mあり、茶時が麓とかなり遅れます。これは、早いのは高値、一日ごとに値は下落の市場取り引きには大きなハンデになります。有機質肥料を中心に使い、夏から秋にかけて病害虫の防除と樹



精力高揚を徹底し、尾呂久保地区特有の寒暖の差が生み出す良質のお茶の生産を一心に追求して来りました。

全国への出品は四十以上の頃から初めりましたが、「上位入賞は厳しい」と、長い間遠ざかっていたが、一昨年、川根本町で開かれた「全国お茶まつり」などが刺激になり、再挑戦しました。「周囲の後押しがあったからこそ、川根茶全体の向上にはつながればよい」と、静かな口調ながら力強いお話をなされました。

茶園管理で苦労した事は、「昔は冷え込みが厳しい冬に葉が凍ったり、赤くなったり、ひどい時には枯れるほどの寒害に悩まされた。防風垣や敷き草など必死に対応しました。近年、気候が温暖湿順になり、凍害もほとんどなくなりました」と話されます。ここには、地球温暖化現象が、尾呂久保や八中、又保尾地区など高冷地を、茶栽培最適地へとかわてくれているかな？とも思えます。又、これからの抱負は、「肥料の植上がりなど、農家を取り巻く状況は大変厳しくなっています。そんな時代だからこそ、あるがままの自然を生かした茶栽培にこだわりたいと思います。若手の後継者が、それに続いてくれるはずだと思います。」

★受賞大村雄一郎さんご紹介

沢間字池ノ谷の大村雄一郎さん(82)は三人が十二年前に設立した荒茶工場川根香味園があります。今回の全国茶品評会には、大村さん栽培の「やぶきた」を初出品され、いきなりの栄誉に、「信じられませんが、でも川根茶の伝統を守れて嬉しい」と、喜びをかみしめていられます。(写真は、受賞を喜びぶ大村雄一郎さん右、一家、奥さん、父さん、母さん)

品評会に出した茶は、荒れた耕地を買い取って、草取り、定植、施肥と六年掛かりで育て、初収穫を迎えた茶葉、若



い木だけに新芽の生育が予想以上に早く、摘採が二、三日遅れたという。それでも「味の乗りがよく、熱湯でも旨みと甘みが広がりたい」と喜ぶ雄一郎さんは話しています。

大村さんの茶栽培の特色は、「茶樹にストレスが掛からばいこ」と最優先して考えている。と力を込めて言われます。秋整枝にしても、「自分の都合ではなく、適温とされる平均気温18℃程度になるまで待つ」姿勢を大切にしているという。病害虫などの防除も「余分なことまではしない。お茶の木のために、何が必要かを常に分かってほしい」と、心構えを示してくれています。

川根香味園の設立後、視野に入っていた高齢社会は、現実のものとなってきているが、「お茶で食べていく環境は年々厳しくなっている。いい川根茶を作り続けるとともに、販路面の強化も図りたい」と意気込みを見せてくれています。

★功績者表彰岸本浩志さんご紹介



水川自身、JA静岡経済連技術コンサルタント(元、県茶業試験場長)一九六四年に県に入庁後、県茶業試験場の普及

の普及や水田転換による茶園造成技術の確立、共同製茶工場

の経営機能強化にマニアル作成などに尽力した。
 受賞については、「さまざまな分野に携わってきたが、静岡県産の茶葉を底上げしようという思いでやってきた」と振り返る。品種鑑定や審査にも優れた技術を持ち、全国茶品評会をはじめとする数々の品評会で品質向上に貢献してきた。

〇四年からはJFA静岡経済連技術コンサルタントとして製茶業の経営強化を図る。業界が抱える問題は山積するが、「技術革新が進んでも、良質茶を生産するという根幹は変わらない。これまで蓄積してきた生産技術を今こそ発揮すべき」と力を込める。
 島田市中溝所在住、六十四歳

お茶と私 上原ひろみさん



うえはらひろみさん、1979年浜松市生まれ。ジャズピアノニスト。6歳でピアノを始め、17歳の時、チック・コリアと共演。2003年世界デビュー。パーカリー音楽院首席卒業。平成18年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

故郷の味 海外へ必携

父の実家がお茶どころ中川根(大野麻字三津間)で、小さい頃からずっとお茶を飲んで育ちました。夏休みにはいつも祖母の家へ行き、茶畑で遊んだり、大井川でアニ釣りやサワガニ捕りをしたり、お茶にはど真ん中で遊んできました。

十八歳で故郷を離れて以来、茶園を経営するいとこに川根茶を送ってもらっています。海外にもティーバックを持参し、ホテルでリラククスした時に飲んでいました。

いとこは農林水産大臣賞も受賞したお茶博士。お茶の



いとこの丹野浩之さん(水川)も、今回一等四席に入賞されました。丹野さんは第57回全国茶品評会にて優等、日本一に輝きました。もじとおり、川根本町いよ日本のお茶博士のお一人であり、川根茶の未来をにらうホープです。

とことをまるで人間のごとくのように話します。私自身もピアノを一人の人間のように接していますから、お茶づくりに関わる情熱にはいつも教えられます。

夏の暑い時期、セミが鳴き、お茶畑が広がり、大井川の水は冷たく、吊り橋がかかって——。アルバム「Brave」の一曲「グリーン・ティー・ファーム」は、あの大好きな風景を思い浮かべながら作り出した。故郷を離れ、自分を大切にしてくれている人がそばにいたこと、ありがたさを痛感し、感謝の気持ちも込めました。

お茶を飲んでいて一番に思うのは、どんな食べ物にも合うな、ってこと。いつでも飲みたくなるし、ご飯にかけてもいいし、ウナギ茶漬けも、使い道が多彩で、とても身近な存在です。

世界中どこへ行っても「抹茶ラテ」はありますし、欧米なら緑茶ティーバックも普通に売っています。特に米国はお茶ブーム、健康志向でオリエンタルフードが注目され、緑茶を飲む人も増えていきます。私自身、胃腸の調子がいいんです。

最近はお茶の入浴剤を楽しんでいます。本当にお風呂が緑茶の香りに包まれます。お茶風呂につかれば、南アフリカにしようか、トルコにしようか、故郷に戻った気分です。

ライブで「グリーン・ティー」を弾く前は必ず、「私の家族は長生きです。その秘けつはお茶。長生きしたかったらぜひ」と勧めています。皆、笑いなから「これから飲むわ、っ

て言ってくるか。こつせりお茶の普及を期している人です。
 参考文獻 静岡新聞 20年8月30日記事より
 20年10月2日

編集室より

※全国茶品評会茶摘み奮闘記

「全国茶品評会向けのお茶摘みさん募集」の町
 発テラシの四月中旬に入って来す。茶摘みは
 子役の頃より数年前まで実家で勤んで来す。たが
 天下の川根茶品評会用の茶摘みは未経験。茶
 原の様子も見てみない。そう、やめてみよう
 と応募致し。来たところ、みごと採用され。た
 ゴールデンウィークは品評会の茶摘み、と決め込ん
 でその日を待ち。今年は二月三月が暖か
 かつたため茶時が早やうだの予想があり。た
 が、彼岸すぎから四月中、驟雨、曇天が続き、茶
 摘みが例年より遅れ。た。

品評会出品の茶園は、緑茶は点で園主に苦
 勞をかけています。普通の茶園とは別あつた
 育てられます。それで川根本町では、何軒もの茶
 農家の皆さんが、勞をいとほまず毎年出品に挑
 んで下さいます。今年も各部門に沢山の園主、組合が
 エントリーしてくれ。た。普通煎茶10名の部も
 十数ヶ所で茶摘みが行われ、私も四軒の茶園にて
 お茶摘みを行いました。

品評会のお茶摘みは、普通の茶摘みとやり方
 が全然違います。どんなふうかと言いますと、
 ベテランさんより、素人(未経験者)さんがいい。



終

指導員が摘み方を教えてくれます。その通りに摘める人がいい
 のです。(ベテランさんは摘みかたがあまりいい)

摘み方は、元気がいい茶の木の上の部分で、摘み手の腰から下は
 摘まない。お茶の木は50cm以内、一針二葉、一針一葉、二葉、で摘み
 軸木をなるべく入れない。色の悪い葉、形の悪い葉は摘まない。
 摘み方は、この折り、折るのに爪を之てす指先で折る。一葉、
 二葉(二回摘むこと)に、びく(茶籠)に入れ、手の中に葉をとどめ
 ておかない。

茶園は、茶刈り機でならしてはいない。ボサボサの木で、その中の選
 ばれた葉のみが摘みとられ、びくの底がかくれるかどうかで、集め
 られ、手籠に入れ、各茶園で一つにまとめられる。保冷車が
 来て、地名の農林業センターにて、荒茶には上げられるのです。

出品茶園は、大勢の摘み手が必要です。近所の方、親戚、
 知人、友人など、一園五十人以上のお茶摘みさんの必要となり、
 どの茶園も大勢振舞い、昼食やら、一服休みに、いろいろ出して
 くれ、割り高の日もくれ、これで採算が合うのかと心配しま
 すが、日本一を目指し、皆さん頑張っていますし、上位入賞を
 果たせば、川根茶の名声も一段と高まる事でしょう。

さて、私の参加した茶園は、全国一位、二位、四位、十二位と、すば
 らしい成績を残し、鼻高々、とてても幸せな茶摘みとなりました。
 5月2日、大村さんの茶園、雨の予報が出ていた為、早朝六時前の
 仕事始め、青部、沢間の、些許暑苗畑跡地のある地を、見事な茶
 園にして、今回初摘み、一〇〇kgもの長鼓、二位。

5月3日、4日、丹野さんの茶園、70kg品評会にて最優秀、茶
 葉の肌ざわりがピロートの様、今回は四位。

5月5日、高田さんの茶園、西ヶ峰の茶園と、藤川内の茶園、親子
 三代に渡る、茶産地、藤川の、いっしょえ、今回は十二位

5月7日、土屋さんの茶園、尾呂文品にて、全国第一位、土屋
 さんには、おくひかり茶摘み、仕上げ茶の、摘み、今年、最優秀
 の、経験させていた、た。

徳山の櫻井勇さんの の描いた 「だるまさん」

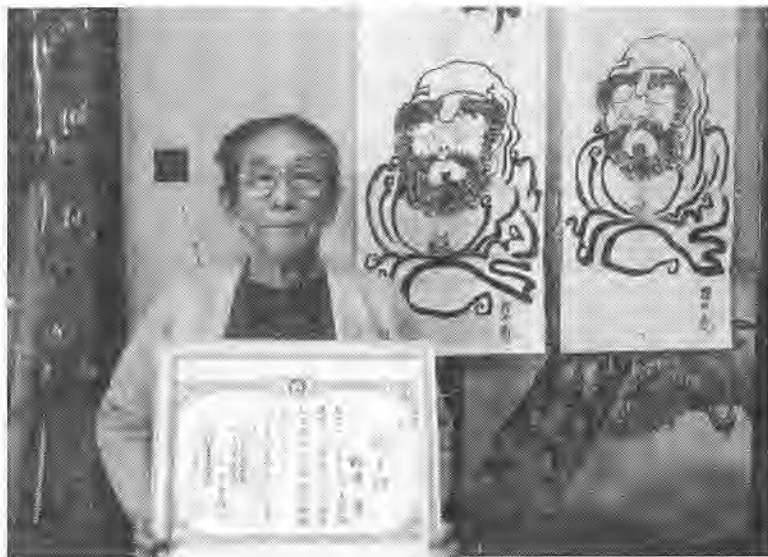
病でたおれて左半身
が麻痺するハンテッキ
見事乗り越えて禅画
学院を修了された



頑張っていきます

徳山 櫻井勇
修業修了の吉日
八雲 虎子

菩提達磨(ぼだいだるま)は、5世紀にインドで生まれ
のち中国に渡って各地で禅をひろめた人物であり、禅宗の始祖
と仰がれています。150歳ぐらゐまで生きたといわれますが
その生涯は多くの謎につままれており、その神秘的な伝説をもとに、達磨像は、
宋元以降の禅宗美術のかっこうの題材として、盛んに描かれて来ました。



櫻井さんは、おっしゃいました、「この
学習は、自身の修業であること、身体
のりハビリになったこと、今後も続け
ます」。頑張っていきますね。

平成十七年十二月二十日発行のふる里通信第4号に寄稿された(大
仏学芸会の思い出―八十歳にて学会に帰る―)徳山の櫻井勇さん
は、その直後の二十八日に脳梗塞で倒れられました。
当時を振り返り述べた櫻井さんの口からは、「真っ白い所へ行きた
した。行けども行けども真っ白い世界でした」と、直ちに救急
車で入院、昏睡状態が続き、三日目に脳外科の先生に「ほほを
たたかわれてやうと気付いたやうです。以後二ヶ月間入院して
痛状も快方に何かい退院しようとしたが、左半身麻痺が残り、理髪

業はおろか、日々の生活も思うようにならず、悶々とした日々を
送っておりました。
ある日、日本宗教学院・日本禅画協会があり、「だるまさん
絵を描く」通信教育で学べることを知り、櫻井さんは入学教
しめました。十九年三月入学から十ヶ月間、一生懸命学習して
今年の一月十三日修了致しました。その間、櫻井さんは、何数の
だるまさんを描いた事でしょう。お清書の用紙に一回三種類、全
五回の通信で修了証をいただいたこと、この事です。

東京のかたすみから(五二)
テレビの始めから終りまで

新幹線のXデー 渡邊 實夫

日本の技術協力により台湾・中国新幹線が完成し、営業開始した。
最近、ロス・アンゼルス・サンフランシスコ間アメリカ新幹線と、ロシアのウラジオストク・モスクワ間、世界最長の新幹線に技術支援を要請されたと報道されている。



四十数年前、日本の新幹線が走り出した頃の話である。万が一、事故が発生した時の緊急報道のため、報道機関は「重大事件の日」を「Xデー」と言って準備していた。

日本は太平洋戦争に破れて、満州や樺太、朝鮮、台湾を失ってしまった。この狭くなった日本の土地を、なんとか有効に利用して経済発展したいという願いから、新幹線構想が生まれた。戦時中に作りかけて中断されていた弾丸列車ルート(静岡―焼津間の日本坂トンネル(用宗の西側にあり、昭和三十年代まで東海道本線が利用)は、戦時中に掘られた)を、この際新たにその線路に利用しようと考えて整備し延長して、東海道新幹線が完成した。

不謹慎な話ではあるが、あの猛スピードで走る新幹線に、大事故が起きては、思議ではない。われわれテレビ局としては、緊急時には、何時、または何処からでも報道中継が出来るようにと、沿線の地理上の調査をしたり、マイク口は搬

地理上の調査をしたり、マイク口は搬テストをした。しかし、新幹線開通以来四十数年、一度も緊急特別報道番組を組むような事故は起きなかった。

個人的な考えだが、新幹線をつくった男、島 香男氏は、最初から世界制覇にターゲットをおいていたのではないかと。そして日本の新幹線をテストケースとして、その安全性と高度な技術を世界にアピールしたのではないだろうか。

左戦時、私は報道現業部長の辞令をうけて、初めて報道現場を回ったとき、新幹線のXデー(事故発生)を想定した出勤の準備作業の様子を見た。テレビ局勤務の私としては、恥ずかしいお粗末な話ではあるが、この時初めて一見華やかに見える報道現場でも、裏方の地味な準備の必要性を学んだのである。

当時、報道現業部では、関八州(関東一円)で事故が発生した場合、中継車をどこへ出勤させ、ヘリコプターをどこへ飛ばせば、東京タワーまたは池袋サンシャイン屋上のヘリコプター追尾装置を経由して、マイクロープが通じるか常に考えていた。

わがANN系列の報道取材グループでは、テレビ朝日をキー局として熱海と箱根までは東京もち、静岡朝日テレビが静岡地区、名古屋テレビが中京地区、大阪ABC朝日放送が関西地区を担当していた。事故発生時には素早く中継態勢がとれるように現地調査と準備が常に欠かせられなかった。

それには、新幹線沿線住居者の協力と情報提供などが不可欠と考え、沿線の地理地形や集落調査を始め、協力謝礼としての「盆・暮れ・挨拶廻り」に気をつかったものだ。しかし、新幹線が出来るに取って中心に繁栄し、建設工

事が次から次と始まり、前回調査で中継地点に予定しておいた場所に、土地造成が進みビルが建設されたり、地形が全く変わってしまったりして、前回決めたテレビ中継点を変えなくてはならないことがあり苦学した。

時間の経過や季節の移り変わりとともに、樹木の成長、ビル建設ラッシュなどで、テレビ素材運搬用マイクローエープが伝搬障害を起し、現地でも恐ろしい悩まされることもあった。

狭い日本に何故新幹線が必要か、の答えとして、狭い国だからこそ高速で走って、広い日本として発展するんだと聞かされていた私たちであったが、実は先にも述べたように、親子二代にわたる島香男父子の遠大な世界制覇の夢が今になって私にも分かってきたような気がする。

台湾・中国の営業開始、続いてロシア・アメリカと大型新幹線構想に島父子の熱い思い・哲学が流れていると見るのは私だけだろうか。

(二〇〇七・九月 記)

参考★高橋団吉著 新幹線をつくった男、島香男物語

★テレビ朝日前取締役、技術局長の村上憲雄さんによると、人工衛星と衛星中継車が開発、導入され、私の現役時代とは変わり、初動中継も容易になったようだ。

編集室より

★東京のかたすみから(五三)の原稿は、ちょうど二年前前にいただいたものです。大変遅れ発車とばかり言いた

★東海道本線・焼津・用宗間の線路の一部が、新幹線を通す為、昭和三十年中途に変更された事を思い出し、せんか、子供の頃父から「アジア大陸に向かう弾丸列車構想があり、線路幅は広軌で、やがて満州までつながらうとしていた。用宗のトンネルはその名残りだ」と、アジア号の写真を見ながら教えられたものでした。今も用宗駅西側に当時の線路敷跡が見られます。そして、焼津側の東海道線から、そ行して走る新幹線の雄姿が見られれば、あそこが、かつて東海道線だったのだから、と想像してみてください。

★東海道新幹線が成功し、旅客列車ルートの大動脈となった後、東北・上越長野・山陽九州と新幹線ルートは飛躍的に広がり、国内の各地も身近かなものとなりました。北海道として、案外時間がからず行けます。下泉発6:00の一番電車で、函館に15:12に着きます。約九時間、青函連絡船(東海道・東北新幹線仙台まで有)の時代の半分以下になっています。

六月十四日は大切な用件があり、前記の行程で函館を目指しました。途中、とんでもない事態になるなんて、全く予想もせず。

★東京駅、東海道から東北新幹線のホームへ向かう途中に大変な事態が発生しました。東北地方に大規模地震発生を告げる放送がひびきます。私の乗るハチ行は、やがて「号」は発車準備に取りかかっています。乗り込みはしたものの、お発車をみるか心配していました。約十分後、車内アナウンスにて「この列車は運休、車庫に入りませ、至急降りて下さい」と、その時、同じホームに、上越新幹線

MAXとき新潟行き巨体がすべり込んで来ましたが、しかも新潟までノンストップで車輪が止まった。ついで、羽越線・奥羽線で行こうかと決めて上越新幹線に乗り換えようとした。東北新幹線と線路が重なる大宮駅までには、かなりの時間を要し、たが、上り列車は、各所に停止して混乱状態。又その後、東北新幹線八戸行は終日運行されなかったとか。地震発生前に発車した列車に乗り合わせなかった事も、ラッキーであったと考えます。かなり遅れて新潟駅に着き、地震情報では、宮城、岩手、山形、秋田県内陸部は、そうとうなゆれで、新潟も震度5だったとの事。行く先の電車は、と心配しつつ、羽越線特急いなほ5号に乗り込みました。秋田行きです。

秋田までの道のりは遠く、まず酒田までの試験運転となり、ました。酒田には上野晃さんが居る、もし止まったら客にら、相談しようかと強い。酒田に着く、乗り合わせた客には、秋田新幹線利用迂回者が多く居た。が、線路点検もありかなり遅れて、今度は象湯を目指し出発した。ひと安心もつかの間、遊佐駅で停車したまり、さっぱり動かない。秋田新幹線組がいら立っていた。が安全面を考えがまんしていた。遊佐は、七年ほど前に地域づくり全国大会が催された町。鳥海山登山もかねて思いの地であるが、待たされる長さに心配がつる。やかてお発家湯を無事すぎ、秋田駅に17:10に着く。次は、青森を目指す。奥羽線特急かもろ、5号に乗る。夏至に近い日の昼間は長いが、弘前の手前から夕暗はせまり、青森駅に20:30に到着。二時間強の待合せの末、津軽海峡線急行は、まなす最終号に乗った。青森駅の待合室ではじめて、宮城、岩手内陸部地震の映像を見て、災害規模の大きさに、あ然とした。やかて函館に十五日1:12に到着。よくぞ来たかと思いつつ、大切な用件へと向かっていきまされた。終

緑茶とJAS法

中道正巳

少し、いや大いに暴言ですが、四月頃、牛肉百パーセントを銘打ったコロッケに、豚、鶏肉を混ぜていたが、発覚し倒産した食品会社がありました。騙す方も騙す方ですが、騙される方も又長い間知らなくて、内部告発によるDNA鑑定の結果で初めて知るわけですから、味は良かったという事になります。悪かったのは表示だけで、表示の牛肉百パーセントを「肉が100%」とでもしていたら問題にならなかったかも知れない。

十数年前、浜松弁天島のホテルであさりを食べた時、「地元で食べると美味い」とネ」と仲居さんに言ったら、「浜名湖のアサリじゃないですよ、韓国のおさりで、一晩浜名湖につけて置くと、浜名湖産になるんですよ」と云われ、びっくりした事があった。JAS法なんて知らない時代でした。仲居さんも親切でした。JAS法が改定されて食品の品質表示が厳しくなりました。

緑茶も農産物加工食品の中に指定されています。原産地、消費期限等を明記しなければなりません。

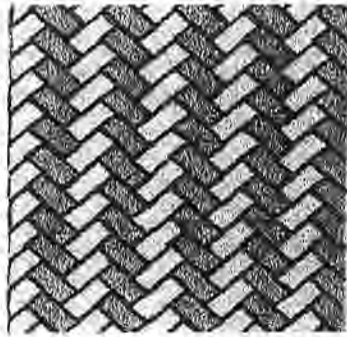
賞味期限と消費期限があります。私は美味しく食べられる期限が賞味期限と思っていたら、法律は定められた保存方法により期待される全ての品質の保持が可能である認められるものが賞味期限とあります。また、劣化に伴い安全性を欠く恐れがない期限が消費期限とあり、法律とは難しいものだと感じました。今日、北海道の有名なチョコレート菓子、白い恋人が賞味期限を偽装したと報じています。マスコミでセンセーショナルに

報道されると会社存続にも関わる事に発展します。JAS法の前に安全な食品を製造する、というマナーがなくては、JAS法は守れないようです。

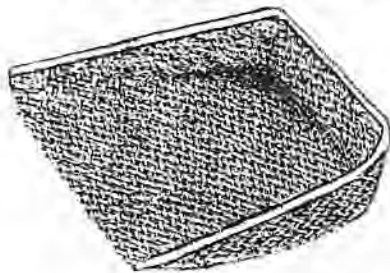
しかし、賞味期限はそれを製造する者と、販売する者が設定するものなので、消費者はそれに惑わされないことも必要です。スーパーのお買い得品、賞味期限が一日しかないので、たくさん買い過ぎ、翌日捨てる。こんな人もいるのです。期限が切れたら直に駄目になる、そんな賞味期限は有りえないのです。

緑茶の場合、一番茶であれば一番茶の味と香りが、保存によって保たれる事が出来るので、期間も長期間にできます。問題は原産地です。

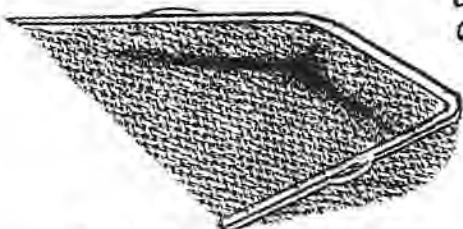
お茶は荒茶から仕上げ茶に精製されますが、仕上げの方法が時代とともに変化しています。手摘みの茶が少なくなり、そのうえ仕上げが機械化された事もありません。流通と販売も変わりまわった。又、昔風の仕上げも少なくなりまわった。荒茶は裁断して、ふるいに掛け、茎や柳葉、粉などに分別されます。裁断機が使われる前は、目が粗いふるいと木のへらを使い、茶葉を裁断しました。その時粉が出来ます。小さな粉をふるいに掛ける場合、網のメッシュが多い、つまり小さな目の



=アジロ編み=薄く裂いた竹ひごの裏と表を交互に編むことで裏と表が同じになる。



1斗箕 藤箕(ふじみ)



茶仕上げ用 藤箕(ふじみ)

急須で茶を入れたとき、粉が詰まって出なくなるのがあります。仕上げが、裁断だけで、ふるい分けられていない物とか、香典返しなどに使われる物などに見られます。次に仕上げの過程で茶の合組があります。合組は荒茶の段階、又は仕上げ茶と仕上げ茶の場合もあります。合組は必然的に生れあした、各々の生産者から集めた茶の品質を一定にして、さらに味の良くなる効果、仕入原価を

ふるいで回しふるいをします。それは一方だけふるいを揺らすと、乾燥した季節ではお茶同士の摩擦で静電気が発生して、張り付いて小さな粉は分別し難くなるからです。これを解消する為に藤箕を使いました。この藤箕を使うのが難しいのです。

藤箕は孟宗や篠竹で作ります。昔、穀物に使う一斗箕は川根のどの家庭にも一個は有りましたが、現在かごや職人が全国に数人しかいなくなりました。現在一斗箕を作れる人は、千葉県の成田市付近にしかいないようです。

茶の仕上げに使う藤箕は、一斗箕より浅くしなやかでアジロの編み方です。従兄弟は昨年亡くなりまわったが藤箕を使う名人でした。もうこの様な人は今後出ないでしょう。

一方、静電気を機械的につくり利用したのが棒取機械、茎茶を選別します。分類された粉、柳葉と本体の茶との割合を歩留まりと言います。学校給食用、大工場の食堂、或は高速道路のサービスエリア等にある自動給茶機用の茶、これ等に使用されるには、安価な茶が用いられますが、ふるい分けられた一部が向けられます。

調整できる経済的な効果もありません。合組は同一地域との合組、他県同士との合組、日本と外国との合組が可能です。極端な例ですと日本、中国、ベトナム茶の合組があるかも知れませんが、この場合の原産地名は、重量で割合が50%以上とか、30%のうちの2ヶ国の国名を表示し、あとはその他にして良いとか、細かい規定があるようです。

しかし、合組茶の国名を調べる方法はどのような方法でしたらうか？十年程前に、イギリスでフロン羊が生れまじった。性格もまったく同じこの二頭の羊を誕生させたフロン技術とは遺伝子の操作。フロンとはギリシア語で小枝という意味だそうです。小枝は挿し木に出来る。桜のソメイヨシノは挿し木で増やした。お茶は挿し木と茶の実の両方で増やせる。茶の実の場合、花が咲き、受粉が落ちて実になる。受粉の時、地域の情報が、実の中に組み込まれる。挿し木の場合と種の場合とは遺伝子の伝播に違いがあるようです。

柴西禪師が中国から初めて日本に茶の実を持って来たと言われていますが、初めてというのは正しくない様です。柴西は鎌倉時代の僧、すでに平安時代には茶を栽培して嵯峨天皇の朝廷では茶を飲んでいたようです。それ以前、空海と並ぶ天台宗の最澄が中国の唐代に茶の苗を持ち帰っていると言われています。柴西は「喫茶養生記」で喫茶を広め、其の功績で茶祖柴西禪師とされた。

平安時代多くの留学僧が、いろいろな品種の茶の実を持ち帰っているようです。留学した宋の国はグリーン紅茶と共に世界三大紅茶の一つの雲南省も有る所、キーマン紅茶の銘産地です。ですから持ち帰った中には紅葉種も有った事でしょう。

紅茶種の生葉は一見、やぶきたに似ていて、緑茶として採み上げると色は黒っぽい緑になる。雲南省から川幅大井川ほどの川を挟んだ其の先は、ベトナム。そこは良い茶が採れるはずですよ。

柴西が茶の実を蒔いた所は福岡県の背振山と言われています。其処から京都榎尾までの線を引くと、此処には高山寺(注)があります。其処から伊勢湾、富士山、埼玉県へと線を引くと、埼玉県は茶の経済栽培北限です。その線上には銘茶の産地があります。

埼玉県の狭山茶は川根茶の手本となった茶所。十工程ある手揉みで使われる。こくり・でんぐり等の揉み方は狭山の言葉。製茶機械も此処で生れました。(名機)



人づくり風土記 22.ふるさとの人の知恵 静岡より(巻文協) 江戸時代の茶時風景...丸茶樹を鎌で刈っているのは?

高林式祖標機は川根にも多くある。そして線上の銘茶産地は、富士茶、川根、静岡茶、天竜茶、愛知県西尾市の抹茶、宇治茶、ハダ茶等となります。

一般的にお茶は銘産地趣向が強いので消費者が購買意欲を欠く表示は敬遠されます。同じ飲み物でもコーヒーと大きく違うのが原産地とその他のこだわりです。

インスタント・コーヒーの場合、堂々としてブレンド(混ぜ合わせた)コーヒーとして販売しています。原産地もニカ国表示されたものがほとんどです。もともとコーヒーは違う原産地の豆をブレンドして飲むのが通人、高級なブルーマウンテン(ジャマイカ)のストレートを買う人より、モカ・サントス、コロンビアをブレンドして買う人の方が、コーヒー通に見えるでしょう。

モカはイエメン共和国、サントスはブラジルで、コーヒーは原産地の国名より出荷した港が銘になっている場合があります。ちなみにベトナムはお茶も盛んですが、コーヒーも現在はコロンビアより生産量が多く、世界三大生産地の一つになっています。

川根茶とたいへん良く似ている茶に、旧周智郡春野町(現浜松市)の茶があります。旧中川根町とひと山こえれば接する所で、昔から人の往来、物資の流通がさかんな所であり、お隣さんです。この茶と川根茶を合組すれば、一つのブレンド茶ができます。

お茶の品質表示は、美味しいお茶を作る程に、難しいところがあるようです。これまでの内容について、参考考文獻入間町博物館誌、(社)JAS協会HP、大阪在住の茶仲間、上島珈琲店長さんの話を引用いたしました。(終)

(注)高山寺について、山号梅尾山(とがのおさん)寺号高山寺(こうさんじ)京都市右京区にある真言宗の寺、初め度賀尾寺と称した。一ニ〇六年明恵が再興して現名に改め、華嚴宗復興の道場として栄えた。「鳥獸戯画」「明恵上人像」などの美術品のほか、特に貴重な典籍類が多い。また紅葉の名所と、大坪林にあります。文中の華嚴宗について記すと、

華嚴宗について、華嚴經の教説に基づき、中国唐代の僧法蔵が開いた大衆の宗派。華嚴教学は天台教学と並び仏教の代表的な思想。日本には七三六年(奈良時代)に唐僧道璿が伝え、新羅僧密祥が東大寺で初めて華嚴經を講じ、日本華嚴宗の第一祖となった。第二祖良弁によって確立されたが、のちに衰え、鎌倉時代に凝然、高弁により復興された。南都六宗の一つ、東大寺を大本山とする。とあります。文中の南都六宗は、

南都六宗、について、(西)南都とは、京都を北都というのに対して奈良の、(東)南都六宗は、奈良時代の六つの仏教宗派。三論・法相・成実・俱舍・律・華嚴。平安以降に成立する諸派に比べて、信仰・教化よりも学問的研究を重視した仏教。とあります。

静岡県立美術館にて

七月十二日〜八月三十日まで

国宝 鑑 真 和 上 展 が 催 され ました。

★唐招提寺とは、奈良市五条所にある律宗の終本山。七五九年唐鑑真が創建。金堂をはじめ主要伽藍が整備されたのは鑑の死後といわれる。金堂の盧遮那仏および諸像は天平仏の名品。

不思議だ。ただ見ているだけで、心が満たされてくる。

— 鑑真和上展より —

1200年余の昔、唐招提寺は12年に及ぶ多難な渡航を乗り越えて来日した中国・唐の高僧、鑑真和上によって創建されました。当初の面影を残す主要な伽藍の中でも、金堂は、天平の金堂建築様式を唯一今に伝える貴重な遺構として知られています。過去4度の大修理を経てその姿を保ってきた金堂ですが、平成のこの時代に、大規模な解体修理が行われることになりました。これを記念して開催されるのが「国宝 鑑真和上展」です。

国宝9件、重要文化財34件を含む約140点の貴重な寺宝を一室に公開。8世紀に制作され、日本最古の肖像彫刻として知られる鑑真和上坐像(国宝)を核として、唐招提寺の歴史的な意義を示す文物や、唐の円熟した芸術を背景に花開いた天平時代の仏教美術の至宝をご紹介します。

時代を越えて人々の心を打つ鑑真和上の偉業 — その精神を今に伝える貴重な文物に、ここ静岡で“出会う。またとない機会です。



鑑真和上坐像(国宝)

脱活乾漆 彩色 像高80.1cm 奈良時代。弟子の忍基(にんき)が、講堂の梁が砕ける夢を見て、和上の死の近いことを知り、そのお姿をとどめようと弟子たちとともに作ったといわれる。唐招提寺の精神的象徴として大切に伝えられ、日本における最古のまた最高の肖像彫刻としてあまりにも名高い。

唐招提寺金堂
平成の大修理中、その姿はしばらく拝むことができません。



左 勅額 (重要文化財)
右 金龜舍利塔 (国宝)



↑ 四天王立像 広目天(国宝)

↑ 四天王立像 多聞天(国宝)



←
左 梵天立像 (国宝)
右 帝釈天立像 (国宝)
* 招提とは梵語の Caturdīśā を音訳して生まれた語で元來は四方の意味である。

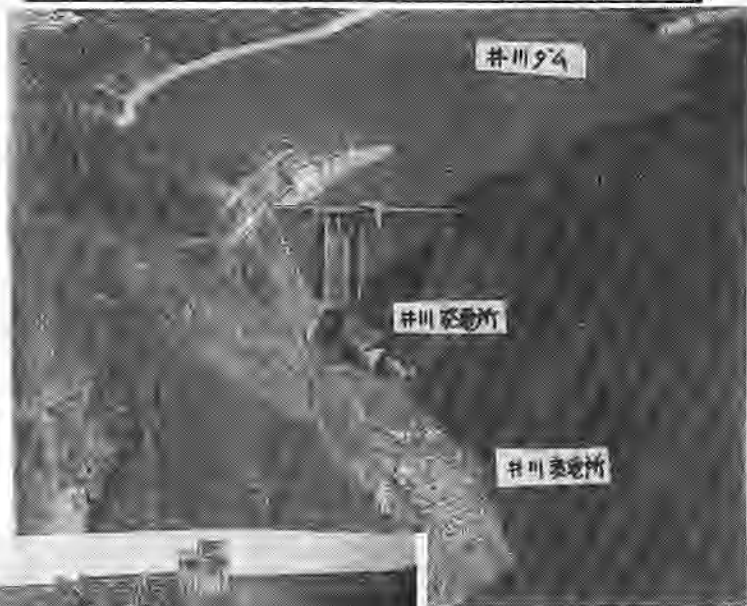
発電所の内容

	井川発電所	奥泉発電所
最大出力(KW)	62,000	87,000
最大使用水量(%)	80.00	60.00
有効落差(m)	92.70	168.70
ダムの種類	中空重力式	重力式(3ヶ所)
ダムの高さ(m)	103.600	44.50(奥泉)55.00(奥の深)8.60(奥側)
貯水池総貯水量(m ³)	112,425 × 10 ³ (150,000 × 10 ³)	1,600 × 10 ³ (3,150 × 10 ³)
全推砂率(%)	H12/4 25.1以上	H12/4 49.2以上
有効水深(m)	45.00	3.00
水車型式	立軸フランジ2台	立軸フランジ2台
水車出力(KW)	33,000	47,000
発電機容量(KVA)	34,000 2台	51,000 2台
取水位標高(m)	665.400	574.500
放水位標高(m)	571.500	389.394
運転開始	昭和32年9月	昭和31年1月
経過年月	51年1ヶ月	49年3ヶ月
水路直長(m)	-	本水路7,987.484 支水路3,076.577

日本國中のほとんどの川が、なんらかの形で水資源として利用されており、その様な場合、使用する側は、水利権を得なければなりません。表記の二つの発電所の水利権が、今更新中です。その一つは、奥泉上流にある奥泉発電所です。その状況を知らせると共に、大井川が置かれていた現状と、かつての水利権をめぐる川根地域の住民の行動を綴ってみます。

◎井川発電所(静岡市) 利水源 畑窪第三発電所使用水、他
◎奥泉発電所(川根本町) 利水源、井川発電所使用水、関の沢、栗代川(寸又支流)

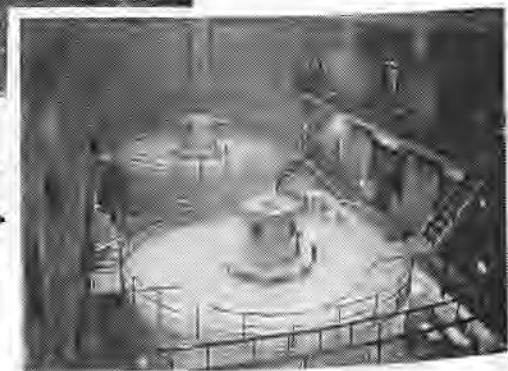
大井川上流にある二つの発電所の水利権が、今更新中です。
期日、平成二十年七月九日



↑井川発電所と、井川ダム、変電所



↑下流より井川ダムを見上げる
発電機機



井川発電所について
井川発電所の利水源は大井川水系最大のダム井川ダムより供給される。ダム式発電所です。したがって、導水による減水区間もなく、利水した水は、ほとんど下流に流れます。水利権云々は関係ありません。が問題と言えは、ダム湖に上流から流下した砂、石、礫、岩などが半分位堆積してしまっ、水を取りのぞくのが、大変な難題です。バックウォーター付近から上流部は、堆砂、表流水の地下水化、ダム貯水のコンクリートに流し込んだ様なナマリ色の濁水現象があります。
なお、発電機への導水管などは、ダム堤体内にあるため、外部からは見ることが出来ません。洪水時、排砂門があるのか、否かもよく判りませんが、使用水量80%の流れる水管があるのでは(よう)。

奥泉発電所について

合併して、奥泉、大井川、久野橋、湯山、大間と五つの発電所がある町となりました。その内四つは戦前、戦中に出発した古い発電所ですが、奥泉発電所は、国の総合開発計画時に建設された水系では新しい発電所です。

当時、井川発電所・奥泉発電所・さうに上流部の畑薙第一第二発電所は、二発電所がセットで建設されましたので、よく似ています。大型ダム式発電の利水後も、下流のダムの高さが低く、川幅を上流まで長く利用する。いわはウナギ形のダムをつくり、水路にて、はるか下流で発電する方法です。畑薙第二ダムでは明神沢川の水、奥泉ダムでは関の沢、栗代川の水が取水されていることもあり、人家の有、無をのぞいては、共通点も多いようです。

さて、奥泉発電所の水利権期日をむかえに今日ではあります。が地元では、水返せ運動が起きるところか、奥泉発電所横にある大井川ダムが、井川ダム、奥泉ダムの濁水が流入して、川口発電所や、田代川第三発電所の河川維持流量もからみ、下流へ放水する為、大井川ダム下流が、ほぼ通年異常な色の濁水と化して流下しています。濁った水も川面を流れば、水草や岩石や、日光で浄化されるのが自然の営みですが、もはや、この流域の川や岩には、ヘドロがびっしりたまって、どうする事も出来ません。

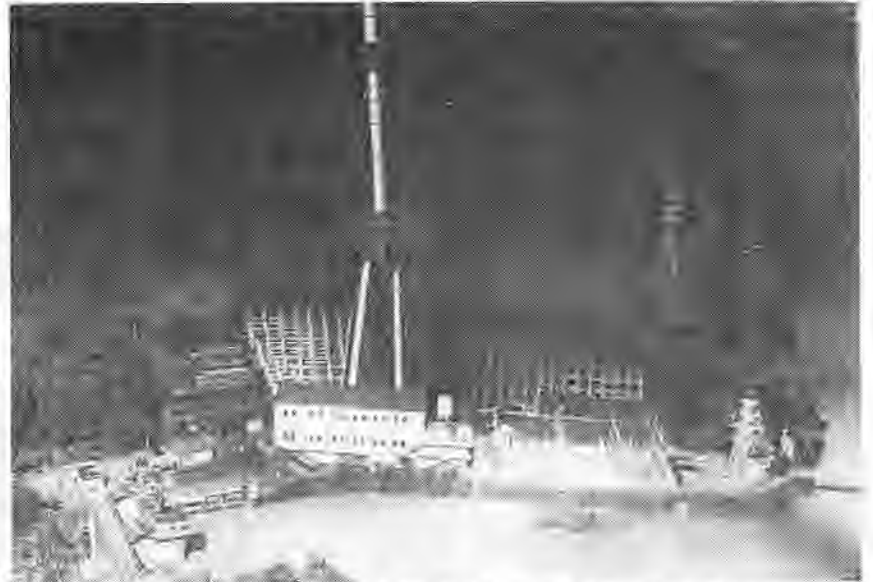
それから四年前に、大井川ダム上流わずかの敷キ口の地点に、国土交通省の多目的ダム長島ダムが完成し、水系三番目の規模の大型ダムが出現しております。井川から奥泉まで、四つのダム(大型ニ、ウナギ型、利水調整型)があり、大変複雑な状況となっております。水が貯まるかどうか心配した長島ダムにも、水は予想以上に貯まり、上流からの流入水がほとんど望め



奥泉ダム



関の沢堰堤



奥泉発電所全景。奥泉ダムから導水された水、60トンが、2つの水管(30cm・30cm)に分けられ2機の発電機をまわします。有効落差も大きい為、発電能力は大きい発電所です。奥泉ダムからの導水管に、静岡市と境と分ける関の沢・寸又川を流栗代川からも取水されており、2つの沢川は、堰堤直下が水無川となっております。今回の水利権更新時に、流環境の改善(堰堤排砂門が土砂で埋って機能不能)と維持流量の確保と期待しております。

←栗代川堰堤(寸又川水系)いわゆる瀬替えてす。

はい大井川ダムには奥泉発電所利水後の水が流下お来ず、ダムに放水されて、こちらにも満々と水を貯めている、とても不思議な状況です。

今夏、川根本町では、区自治会を中心に、大井川ダム以下の濁水の改善と、その下流域の堆積土砂、取水ニ支流の維持流量の確保など、流域環境の改善を求めて、署名活動を行いました。町民の声が、河川管理を司る、各方面に届くことと切に切に期待しております。

五月頃の国会審議にて、発電用水利権の期間が三十年は長すぎるから短縮し、二十年とするとの法案が通過したのは、新聞紙上にて発表されました。現在の水利用河川環境の变化、河川法の改正など照らし合わせてみても十年期間を期待しておりました。誠に残念な結果となりました。それでも十年の短縮は嬉しい事です。さて、七月九日の、二発電所の水利権の期間は、二十年なので、うか、三十年なので、うか。

奥泉ダムの水は、下流域利水の拠点です。水利権によれば、最大56トンの取水が、関の沢、栗代川の水を合わせて、毎秒60トンの奥泉発電所で利水され、寸又川、横沢の水を合わせて、22.5トンとなり大井川発電所で利水され、榛原川、境川の合を合わせて28トンとなり又野脇発電所で利水され、塩郷堤の堤体地下を、サウホんで28トンの水が大井川を渡り、大井川の表流水をも取水して、笹間川の水も合わせ、毎秒90トンの水にふくれあがり、川口発電所を利水する。いわば大井川本流水利権ルートが存在するのです。その間、設置されている導水管(水の通るトンネル)は本管で約42キロメートル、通常は90トン全て流れるわけではないでしようか、50トン以上流れるいと川口発電所以南の、農業用水、工業用水、(水道水、牧之原用水は、長島ダムよりの役給となるか、発電用導水管内を

通っているらしい)の供給がなされないといわれています。

今から約三年前の平成十七年十二月三十日、大井川最上流部三軒小屋点から山梨県へ導水されている田代川第一第一発電所の水利権が更新された事は記憶に新しい事ですが、水利権の4・997の許可はおりきいたが、条件として、通年、下流へ水を流すこと、許可期限も三十年から十年に短縮されたこと、など流域の人々の願ひも叶えられ、田代ダム以下の大井川が水無し状態から、常に水が流れる画期的な施策がなされました。が、天下の大井川の利水のものすごい事は、一筋縄には行っておりません。

歳月の過ぎるのは早いもので、平成元年三月三十一日更新の川口発電所の水利権にからむ、塩郷堤取水をめぐる水返せ運動から二十年が過ぎようとしております。今、当時の事を思い出しても、ものすごいパワーだったなあ、と熱いものか込み上げてきます。

塩郷堤下流へは一滴の水も流れず、上流は堆積土砂で河床が上昇、度重なる家屋田畑の浸水被害、さらに下流では井戸水の涸渇、河原砂漠出現となり、流域住民が一丸となり、大井川の流域改善をうったえました。

当時の斎藤知事の決断もあり、維持流量量、さかしくむがなされ、水無し川は解消されました。これは、全国で初めて勝ち取った流域改善だったのです。

それから、全国各地で、水利権による水無し川の川面に水を流す、水返せ運動が起こり、ほとんどの川に、少量ではありきなが、流れがよみがえりました。あと十年すると、水利権の期目がめぐってまいります。現在の許可水利権は39カ所となっております。

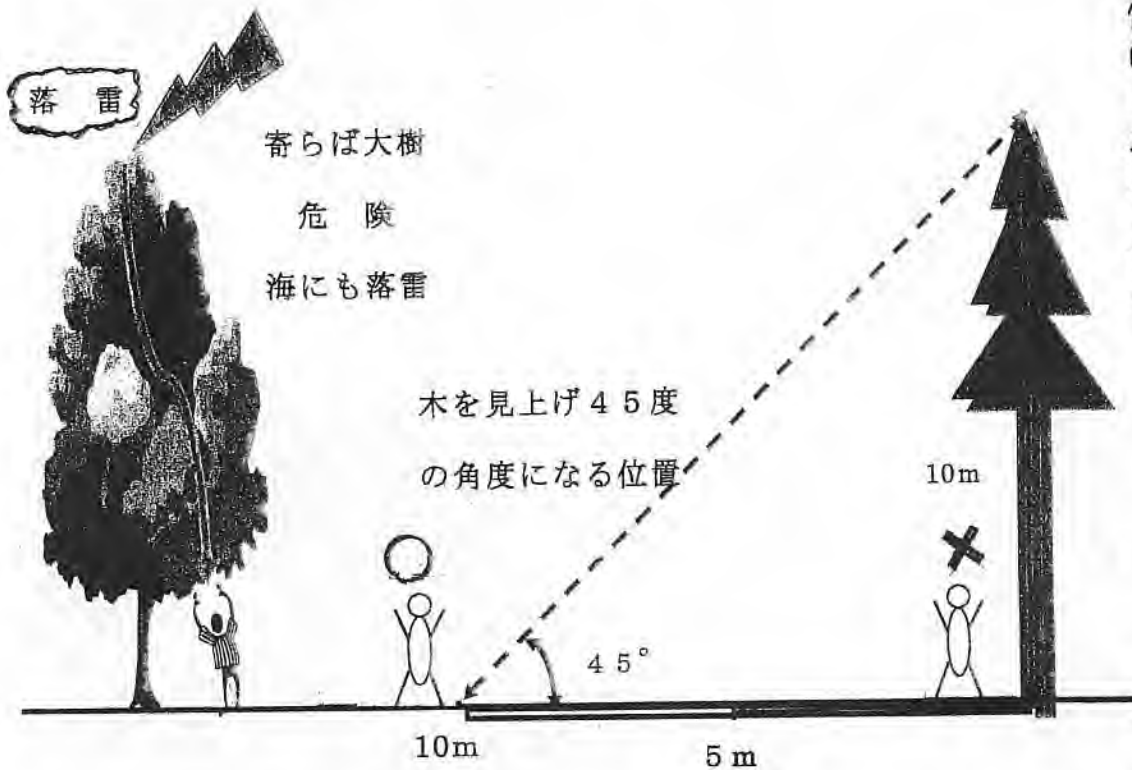
「雷」から身体を守る予防法

最近地球温暖化やヒートアイランド現象などにより雷も多発し、全国各地で落雷事故が増えております。

雷に撃たれて死亡する人は、年間40人以上にのぼり、その数は増加傾向にあります。そこで落雷事故事例の教訓から、雷から身を守る方法についてまとめてみましたので参考にしてください。

1. 落雷事故事例からの教訓

- ① 寄らば大樹は危険である。(大樹への避難、側撃雷)
- ② 高い物を突き出さない。(ゴルフクラブ、釣竿)
- ③ 避雷針のある鉄塔から離れること。(側撃雷)
- ④ 難時には恋人の手を離そう。(共倒れ)
- ⑤ 遠雷でも油断は禁物である。(雲間放電を伴い落雷)
- ⑥ 海にも落雷する。



2. 落雷事故予防法

- ① 姿勢を低くして安全な場所へ逃げる。
- ② 自動車、電車、コンクリートの建物の中へ避難する。
- ③ 樹木、煙突の側には近付かない。(5m以上離れる)
- ④ 避雷針のある側には近付かない。
- ⑤ ヘヤピン、眼鏡はしまう。(雷紋)
- ⑥ 海から早く出て建物の中へ避難する。

川原、山、ゴルフ場などで雷に遭遇したら、
「さて、あなたならどうしますか。」

雷の発生要因を理解して、落雷被害を防止し、(家電機器等への雷電圧や電流の防止対策など)何よりも落雷からの自己防衛の方を研究しておく必要があると思いますね。

第二巻目にランク付けされていた雷、現在もその威力は変わりません。

雷の研究第一任者

中西一巳さん 大活躍

ふる里本身、藤枝市在住の中西さんは、電子情報通信学会で雷の研究をなさっております。かつての職場はNIT、退職後は養蜂業として、電子情報通信学と、研究を重ねら

れ、東海四県を中心に講演の依頼があり、大いそがしの日々を送られていきます。八月十八日には、静岡新聞社にて、「暮らしのサイエンス」雷さまとオヘソケの講演がありました。大人から小学生まで、としもこえた勉強会だったそうです。すこし前まで、「地震・雷・火事・おせじ」と、恐しいもの

発刊が遅れてしまったため、昨年から今年にかけて、お知らせできなかったことをお届けします。



第56回 静岡新聞社、静岡放送スポーツ賞、優秀選手賞 大村朱澄さん 川根本町田代住

(国体カヌー少年女子、二年連続二冠 川根高三年)

秋田国体で大活躍した大村朱澄さん、川根高校始まって以来の快挙に、町民は大喜び、現在は早稲田大学で活躍中です。以下、20年1月12日静岡新聞受賞者の横顔より。

昨年は海外へとワールドを大きく広げた一年だった。それだけに、国体は「勝って当然」。二年連続の二冠も「最低限の目標」だった。

その国体では調子が上がりきらず、集中力を欠いた。「不安だったけど、いつもの自分を取り戻せば大丈夫、大丈夫」といふ文のように釋り返した。

カヤックシングル五百メートルを制した後、二百メートルは最大のライバル、地元秋田の選手に予選で一度は敗れたが、決勝では終盤粘って加速し、二冠を果たした。

平成十六年からジュニア日本代表に選ばれる、昨年七月には世界ジュニア選手権に出場した。以上、省略。



かけて、走ります。応援よろしくお願ひします。

昨年九月、県内長寿高齢者の第二位にランクされた山田クマさん(明治三十二年頃生まれ)一〇八歳がお七くはりになりました。明治・大正・昭和・平成と、長い年月を歩んでこられた方だったのですね。

次のページもまた、時を引きかえしそうは、年賀状、もうすぐと前から書き仰してあるものですから、発表させていたいただきます。中野さん、98歳の遠筆、高本さんの健筆、望月さんのは、大間川中流に堂々とそびえる杉の大木です、もう皆さんは二〇〇九年の賀状に切りかかると期ですか。

清水区押込にお住まいの梶山俊雄さんより
第30回 静岡県市町村対抗駅伝 六区を激走する川根本町代表のママさんランナー、前川豊美さんの写真が届きました。
前川さんの記録も区間上位でした。また、今年も十二月六日に、川根本町を背負って、前川さんをはじめランナー達がオレンシ色のタスキを

謹賀新年

年賀状は贈り物だとおっしゃいますが、私は夫張りお互いの消息を交換する年に一度の大仕事通信であると思ひます。
 カシの漆を喜ぶても大変懐かしいものがあります。
 老友新聞の次の言葉が採用されたい。今年も相張りたいと思ひます。

出さる喜びは半紙と書きまことにあり、
 生きている喜びは半紙と読む事にあります。
 平成二十年一月一日

静岡県川根本町下長尾四一 中野幸逸 98

さん

428-0311 川根本町元藤川四口一高本鷹一さん

謹んで新春のお祝いを申し上げます
 川根本町元藤川 健康で良い新年をお迎えに
 なされたお事とお喜び申し上げます
 ふうん通信にはお方配を給いおま敷
 を煩し有難うございます
 二〇二〇年何やら混乱万々の苦感か
 致しませうが引続き川根路の歴史と
 文化の保全に力を下しませう
 として健康をお祈り致しませう
 川根路に不世の生を繋ぎ文化を守り給えと
 挿絵にも淑徳を年賀状胸熱く読む 元臣の朝



平成20年の素敵なお年賀状をお届けします。

迎春

2008年元旦

謹んで新春のお慶びを申し上げます
 本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます



「十又峯のオスギ」 樹高約45m、胸高直径2m、樹齢約500年
 一見に値する十又峯最大の結木で周囲には樹齢数百年の子オスギ、孫オスギ
 の一群が繁茂している。平成18年11月撮影

〒428-0411 静岡県川根本町千頭279 電話0547(59)3558

望月恒一さん

427-0103

島田市中河一三七

堀本陽三さん

初倉村おとし実行委員会

明けましておめでと御座います

いよいよ富士山静岡空港は二十一年春には開港の運びな
 る様です。昨年一年は暗い話題のみが報道されて、折角上
 向きの環境も予断を許されない状況に陥るかと思ふま
 じです。これから当地域の環境は様変わりする事でしょう。
 川根流域は地勢から見ても南アルプスから川根高原地帯
 を経て志太平原の平地に至り、果は駿河湾迄自然と文化、
 産業は世界に誇れる魅力が充実にあります。これか
 ら大変法が輝くおめでとからこれらの魅力を大いにアピールし
 て自力を強く手に入れます。後世のために尽くしましょう。
 平成二十年 元旦

ことしは台風が日本列島に寄りつかず、はるか南の海を通る大まめすらしい年でした。が、上陸十個ほどの年に比べるとおだやかな年だったと言えますね。

こちらは、梅雨に入り、毎日のように雷が鳴り、梅雨明けの夏本番でも、毎日のように夕立があり、夏は暑いものの、雨が多かつた。が、印象です。皆さんの方はいかがだったでしょう。

この頃のお天気の特徴に「ゲリラ豪雨」と称する、極地的・短時間・前ぶれもなく、バケツをひっくり返したような、どしゃ降りに見舞われたり、いきなりの落雷、急な河川の増水など人の五感では感じとれない厳しい自然界になった。とつくづく思います。特に地表が熱せられる都市部や、森林の少ない地域は危険地帯になっているそうです。原因は熱い地表熱で温められた空気と、冷たい空気が入り込み、わかに発達する積乱雲に在りとの事でした。天上が真っ暗になり、時間雨量五十ミリ以上を体験する恐怖、行き場を失った雨水の行き先は、特にビルや舗装路などで固められた地域では、予想もつかない事態になってしまつたのです。

地球温暖化が心配される今日、二酸化炭素を少なくする運動が世界的に展開されており、各人の努力と心掛けが大きな成果となりますから、頑張りましょう。

日本の森は、再生しやすい風土ですから、世界に比べても勝る美しい豊かな森林となっており、そこから雨を野めて、少しずつはき出す営みが続けられ、一滴の水は、沢となり川になり、周囲を潤し、やがて海へ流れ込み、豊かな海をつくりだします。今、川も危い、海も危い、状況になって、何十年になるのでしょうか。「魔力」という魔法と、水は徹底的に利用するもの、法律でかけがえのない自然環境が失われてしまつた、山を

守ることに加え、川の再生、海の再生は、地球温暖化現象にストップをかけ得ると思います。

太平洋戦争などであるが、一にて生き残った辻野欽三さんと諸田君平さんが来世へ旅立たれ、ふる里通信でも紹介致しました。辻野さんは、戦艦陸奥の大爆発の原因を知る数少ない生存者で、後、南方トラック諸島の激戦で生き残った方。諸田さんは、84号で紹介した、天日本帝國海軍一式陸攻のパイロット、グアム島玉砕寸前にイ号潜水艦にて一命を取り止めた方。もっと多くの人々に、戦争の悲愴さを語ってほしかったと思います。どうか安らかに眠って下さい。ご苦学様でした。ご冥福をお祈りします。

100号までの志を立てて、頑張っており、だが、諸事情が重なり、心身共に余裕が無く、気力も不安定で、この様に遅水てしまいました。今回発刊することで、皆さんからパワーをいただき、次回号へと続けたいと思っております。私は川根本町が好きで、出来ることなら、生涯、この地に居たいと望みます。

＝発行者からのお願＝

中川根ふる里通信は有料発行です。1部送料共200円。皆さんの購読が、このふる里通信の発行を支えます。購読料が切れた方には、郵便振替用紙を同封致しますから、引き続き、ご購読いただきますようお願いいたします。もし、購読を止めたい時や、住所変更のおりも是非ご連絡下さい。ご意見、寄稿お待ちしております。

発行責任者 〒428-0313

静岡県榛原郡川根本町上長尾 859-6

小澤節子

TEL. 0547-56-0015

FAX 0547-56-0020

郵便振替口座 00870-4-81556